

つなぐ



諫早市立大草小学校  
特別支援教育  
コーディネーターだより  
H30.10.18 No.20  
文責 林田

## 😊 季節外れの… 😊

今年は台風が例年以上にたくさん上陸しました。その影響で、日本各地で10月の今、なんと桜の花が咲いた地域が300か所ほどあるそうです。「紅葉の季節に桜？」と驚きました。台風と桜の開花にどのような関係があるかというところ…。

桜の葉からは、花が開くのをおさえる働きをする物質が出ているようで、その葉が台風の強風で散ってしまったため、花が咲いたということでした。普通なら「秋から冬にかけて葉が散り、春に花が咲く」桜も、「台風」という外部からの刺激のせいで、季節外れの花を咲かせしまったのです。ちなみに、今花が咲いていても、来年の春の開花には影響はないそうです。(´▽`) ホッ。

子どもたちの育ちも、周囲からの刺激で変わってきますね。刺激の1つとなる様々な道具（機器）類も、使い方によっては悪影響を与えるものになるかもしれません。

今回は、最近、一般家庭にも普及してきた「タブレット」等の機器の影響について考えてみましょう。



## 😊 「見て分かる」便利な道具ですが… 😊

発達障害のある子どもたちの中には、「話を聞いて判断する」ことに困り感のある子がいます。そのような子たちは、指示や説明を「目で見て分かる」ようにすると、学習や活動にスムーズに取り組むことができます。

例えば、指示を付箋紙に書いて机やノートに貼ったり、一日のスケジュールを掲示しておいたりするという方法です。

その他に、最近お役立ちツールとして注目されているのが「タブレット」です。持ち運ぶことができ、音楽や写真、動画などをその場で見せることができます。繰り返し使うことも可能ですし、使い方を教えると子どもだけで使用することもできます。「百聞は一見にしかず」と言いますが、目で見ることによって理解を助ける、とても便利な道具です。



しかし、使い方を間違えると、生活に悪影響を及ぼすこともあります。

ご家庭では、インターネットに接続してユーチューブを視聴したり、無料のゲームを楽しんだり、LINEなどの無料アプリを利用して通信したり…などが主な使い方だと思います。最近の子どもたちは、機器の扱いに慣れるのが早く、このようなタブレットやスマホなど、あっという間に使いこなすようになりますね。

以前、大草小の保健便りにも載せてありましたが、長時間の機器の使用は、子どもの脳や体の発育に悪影響を及ぼします。

(詳しくは、HP等で「ほけんだより6月号No.7」をご参照ください。)

つまり、便利な道具でも使い方が大切だということですね。

タブレット等の機器を使わせる時の留意点として次のような内容があげられます。



もう、ねる時間だよ。



- タブレットやパソコン・スマートフォン・ゲーム機等の機器を使用させる際は、時間を決める。
- 「宿題が全部終わったら」「お手伝いが出来たら」など、約束したことができたご褒美として、できたことの難易度により、時間を10分・15分…と決めてやらせる。
- 寝る30分前までには終わるようにさせる。
- 与えっぱなしにしないようにする。
- タブレットやスマホに子守をさせない。



「文明の利器」を、子どもの健やかな成長を促す便利な道具として上手に活用したいものです。